



指定されたコースを運転する実技走行。一時停止や駐車車両の脇を通過する時の運転の様子を映像で記録する

「Honda 健康ドライブスクール」について

詳細は以下ホームページを参照。教材の一部はダウンロードが可能。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/senior-training/>

TRAFFIC ADVICE [Honda 健康ドライブスクール]

★交通教育センターから

茂木町に住む高齢ドライバー4名が参加した。午前9時30分からのオリエン

バスは自分の運転の長所・短所を気づいていただくのに最適なので、町内の高齢ドライバーに受講を推奨することにしました」と話す。

Honda健康ドライブスクール(以下、スクール)は、高齢ドライバーを対象にHondaの交通教育センター(もてぎ、和光、埼玉、浜名湖、鈴鹿、福岡、熊本)で行われており、以下のような特長がある。

- ・自分の運転行動を客観的に振り返る(自己観察法)
- ・受講者自身が答えを見つけ出す
- ・問題行動がもたらす危険を模擬体験する
- ・気づきを促す学習を日常生活でも行う

気づきを通して、高齢ドライバーに運転行動を改善していただく

この後、動画KYT(危険予測トレーニング)なども行われた。最後に、再びトレーニング車両を運転し、教室

で学んだことを受講者は確認した。さらに、受講者には自宅でも学習を継続できるように自己学習教材(左コラム参照)が配布された。

参加者の一人である桜井一男さんは「映像を使いながら説明してくれたのが良かった。自分はやっているつもりでも、実際にできていないことがわかりました。このような機会はないへんありがたい」と感想を語った。

茂木町では受講した高齢ドライバーにも好評であることから、今後もスクールへの参加を呼びかけていく考えだ。また平成21年度には、栃木県全体でも県内の高齢ドライバーにこのスクールへの受講を促進していく予定だという。



実技走行終了後には教室で記録した映像をもとに、インストラクターと運転を振り返る



コンピュータグラフィックスによる動画を活用して危険予測能力を高める動画KYT

※1自己観察法=東北工業大学の太田博雄教授らが(財)国際交通安全学会などで研究成果を報告している手法。自分の運転をビデオで録画して観察し、「我が身振り見て、我が振り直す」手法。
 ※2動画KYT=実際に起こりうる危険場面をコンピュータグラフィックスによる動画で再現。どの場面でも危険を感じたか、危険を招かないためにはどうすればよいかなどをインストラクターと一緒に振り返り、危険予測能力を高めるトレーニングを行う。

Hondaグループから SAFETY REPO

●(株)ホンダロック・第1回宮崎地区親子交通安全教室 クルマの特性と交通事故の怖さを子どもたちに、見て聞いて学んでもらう

そして昨年12月13日、「第1回宮崎地区親子交通安全教室」(主催…(株)ホンダロック・

「映像を使いながら説明してくれたのが良かった。自分はやっているつもりでも、実際にできていないことがわかりました。このような機会はないへんありがたい」と感想を語った。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。



開会式で挨拶を行う三神哲夫(株)ホンダロック代表取締役社長

本田技研工業(株)安全運転普及本部)を開催した。この交通安全教室は、同社従業員の家族および同社周辺に住む親子を対象としており、この日は138名の親子が参加した。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。



本田技研工業(株)熊本製作所オートバイ部の部員によるデモンストラクション走行も行われた



宮崎北警察署の協力による白バイやパトカーの展示・試乗

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。

交通安全教室では、まず人形を使った飛び出し事故の再現を親子に見てもらった。40km/hで走るクルマの前方にある駐車車両のカゲから人形が飛び出すというもの。ドライバーは人形を発見してから急ブレーキをかけるが間に合わず、人形と衝突してしまう。「クルマは急に止まらない」ということを示す実験だ。



左折するトラックに自転車巻き込まれる事故を再現